



この新聞は学校HPにも掲載しています。

## 松浦校長先生に聞く 今年度期待すること



● 今年度の Be Leaders の活動が始まりましたが、今年の活動に何か期待されていますか？

● 校長先生 まず、去年の Be Leaders は、新聞や映画上映、外に向けては、姫路動物園とのコラボ企画を立てたり、淳心と服のプロジェクトを組んだり、妻鹿漁港から船に乗って海のゴミをとるなどして、非常によく頑張ってくれてよかったと思います。中高生が外に向けて活動をしていると、大人もまた、それが嬉しいし応援しよう、という気持ちにもなるので、今年も対外的な活動を積極的に続けていけると良いと思います。例えば、新聞班でも賢明女子学院の外の人たちにもインタビューをしてみるのも面白いかもしれません。

● 今のコロナ禍をどう思っていますか？

● 校長先生 一年半前までは誰も予想していなかったことが起こりました。中高生時代は一年一年の密度が高いため、行事など貴重な経験の時間に制約を受けたのはとても残念に思います。早く終わって欲しいですね。そして、コロナが人に突き付けた問いは私たちの人間性、あるいは人間力なのではないかと思えます。去年紹介したニージーランドのジャシнда・アダーン首相はロックダウンという厳しい処置をとる中で、国民に対しては笑顔で、子どもたちには優しく、分かりやすく伝え、上からではなく、一緒にやっつけていこう、という姿勢が受け入れられ、支持されました。感染者に対しては耳を傾け、必要なものを聞いて回りました。医療現場の方たちも職業だから、というだけではなく、使命感や助けたらという気持ちで、自らの危険を顧みずに頑張ってくれているのだと思います。その反面、自分のことや家族のことで精一杯で、感染を恐れ、余裕をなくし、感染者に辛く当たる人もいます。こういう場面で人間性が問われ、それによって人に優しい社会になるのか、ギスギス

した社会になるのか、非常に大きな分岐点になるのではないかと思います。

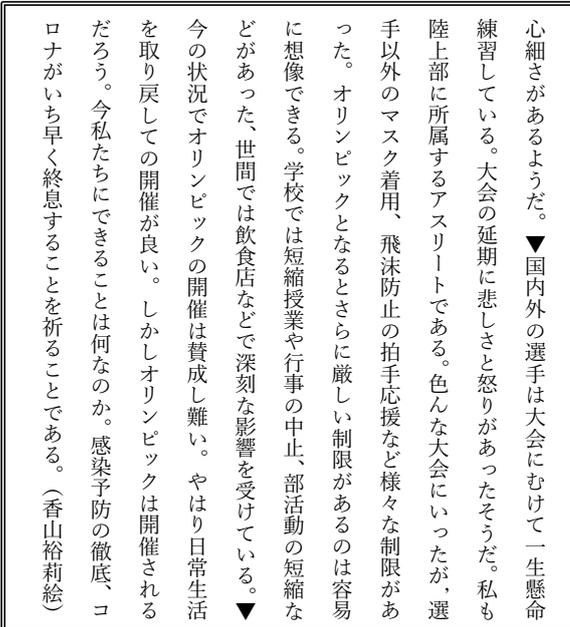
● ありがとうございます。

「他の人を気にかける力がコロナに問われている」というお言葉が一番胸に刺さりました。この約二年間のコロナ禍を通して人間の良いところ悪いところの両面が見え、その中で自分がどうあるべきなのかを改めて考えさせられました。苦しい時こそお互いの優しさが心の支えになると思うので、まずは自分から、身近なところから始めていきたいと思いました。

私たち新聞班では、Be Leaders 各班の取り組みを皆さんにお伝えすることが出来るよう、メンバー一人一人がそれぞれの力を最大限に発揮して新聞を作っています。その他にも先生方にインタビューをさせていただいたり、メンバーが見聞を広げ得た知識を寄せ集めてまとめたりと、少しでも多くの方に楽しく読んでいただけるように精一杯取り組んでいます。これからも皆さんの旺盛な知識欲に応えていけるような新聞を作ることが出来る様に励んでいきたいです。(取材 藤原芽衣 記事 久保音祐)

賢明人語

東京オリンピックの開幕が近づいてきた中、開催都市の東京都では緊急事態宣言が延長された(現在は解除)。新型コロナウイルスの感染終息が見通せない中、主催者のIOC(国際オリンピック委員会)側は開催する姿勢を崩していない。しかし日本では開催に難色を示す意見も少なくない。もし、中止になれば1兆8108億円、無観客開催では1468億円の損失という試算を目にした。これは昨年度のGDPの0.33%で「景気の方向性を左右するほどの規模ではない」緊急事態宣言に伴う損失は「一回目6.4兆円、二回目6.6兆円」とその額は大きい。▼開催の最大の心配は感染拡大、クラスターの発生だ。今は開発されたワクチンが日本にも届けば南米、アフリカ、東南アジアなど十分に行き届いていない国・地域も多い。背景にはまちがいがなく「貧困」がある。平和の祭典、オリンピック、このような格差が生じている現状も開催が疑問視される要因の一つだ。▼出場選手の中にも参加を辞退した選手もいる。理由は様々であるが、一番は同じ国の家族や友達、国民が競技場に來て応援することができないからだろう。心細さがあるようだ。▼国内外の選手は大会にむけて一生懸命練習している。大会の延期に悲しさと怒りがあつたそうだ。私も陸上部に所属するアスリートである。色んな大会にいったが、選手以外のマスク着用、飛沫防止の拍手応援など様々な制限があった。オリンピックとなるとさらに厳しい制限があるのは容易に想像できる。学校では短縮授業や行事の中止、部活動の短縮などがあつた、世間では飲食店などで深刻な影響を受けている。▼今の状況でオリンピックの開催は賛成し難い。やはり日常生活を取り戻しての開催が良い。しかしオリンピックは開催されるだろう。今私たちにできることは何なのか。感染予防の徹底、コロナがいち早く終息することを祈ることである。(香山裕莉絵)

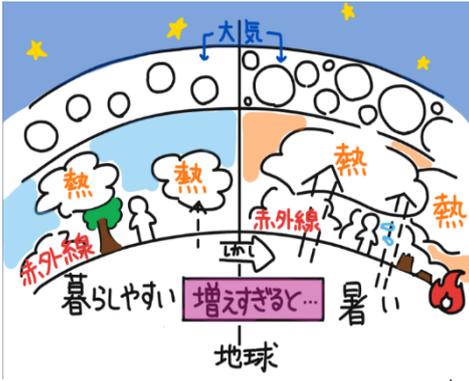


記事 久保音祐

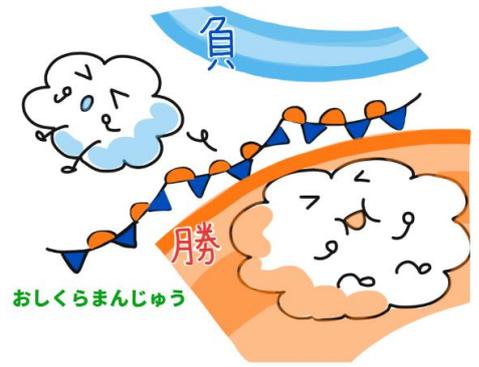


# 温暖化について知っていますか？

## 温暖化と梅雨の関係



地球温暖化とは、温室効果ガスが増えることで、地球の平均気温が高くなってしまふことを言います。温室効果ガスには太陽からの熱が地球の表面近くで跳ね返って宇宙に逃げるのを妨げる二酸化炭素などの気体が含まれます。悪い印象があるかと思いますが、温室効果ガスは地球上の生きものにとって住みやすい環境を作る、地球になくしてはならないガスです。しかし、現在、石炭や石油、天然ガスが大量に燃やされることで、二酸化炭素が発生しています。その一方、森林の減少が進み、植物による二酸化炭素の吸収が減って地球上の温室効果ガスが増えてきてしまっています。そのため、二酸化炭素の吸収が減って地球上の温室効果ガスが増えてきてしまっています。そのため、二酸化炭素の削減が今後の課題になっています。



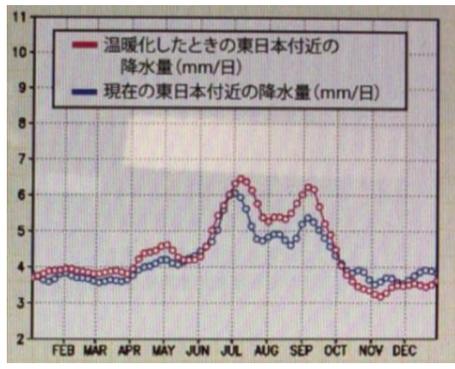
梅雨とは、晩春から夏にかけて雨や曇りの日が多く現れる現象のことです。季節の変わり目に置きます。はじめは優勢だった北の冷たい空気のかたまり（オホーツク海気団）と南の暖かい空気のかたまり（小笠原気団）が日本付近でぶつかり合って押し合います。その結果、大きな雲を作り南北を行ったり来たりしながら、日本に一ヶ月以上も居座り続けます。暖かい空気のかたまり（小笠原気団）が他の気団の加勢によって、大きくなり、押し合いに勝利して夏がやってきます。

将来の梅雨はどうなる？

地球温暖化が進み、気温が上がると海からの蒸発が増え、その結果空気中に含まれる水蒸気が増えます。雨は空気中の水蒸気を集めて降るため、一度に降る雨の量が増え、それに加えて梅雨も長くなる

近畿の梅雨入り・梅雨明け

年	入り	空け
1951年	6月7日ごろ	7月20日ごろ
1961年	6月9日ごろ	7月13日ごろ
1971年	6月3日ごろ	7月28日ごろ
1981年	6月11日ごろ	7月16日ごろ
1991年	5月26日ごろ	7月21日ごろ
2001年	6月5日ごろ	7月19日ごろ
2011年	5月22日ごろ	7月8日ごろ
2021年	5月16日ごろ	？
平年	6月6日ごろ	7月19日ごろ



そうです。今よりもじめじめとした梅雨になると言われています。つまり、日本では

- 梅雨入りは4日ほど遅れ6月15日頃。
- 梅雨明けも4日ほど遅れ7月15日頃。
- 7月15日を過ぎて2日後あたりに規模は弱めの梅雨とは少し違う雨季が始まる。8月頃まで。このように地球温暖化は梅雨にも影響していることが分かります。今、私たちが地球環境を守るためにできることは何か考えてみてください。（上田彩葉 神足佳音）

## 賢明人語のライター、募集します

昨年度の新聞でもご好評をいただきました賢明人語。昨年は学年ごとに担当してもらいました。2021年度第一号の新聞の賢明人語はいかがでしたでしょうか。この賢明人語は中学二年生の新聞班の記者が書きました。今年度の新しい取り組みとして全校生の中から賢明人語を書いてくれる人を募集します。この新聞は毎月発行予定です。その新聞の一面を飾る文章を書いてみませんか？テーマはSDGsに関するものでお願いします。コロナ禍で思うことやジェンダー平等のことでも、海外で起きていることについても何でもOKです。

についてでも何でもOKです。

出来事からあなたの考えを400〜600字程度でまとめて下さい。学年は問いません。またBe Leadersのメンバーでなくても構いません。少しでもやってみようと思った人は平尾先生かM3Bの菅野まで言いに来てください。詳細の説明をします。たくさん応募をお待ちしています。きっと素晴らしい文章が書ける人が多くいると思います。その文才を多くの人に披露してください。

（菅野 柚希）

# 今年度も取り組む「服のカプロジェクト」

## 担当の藤戸先生に聞く



して服の回収期間（7月9日）を実施していきたいと思います。そして学校全体でも服がどういう意味を持つのかを学ぶ場所を作りたいです。なので、目標としては「集める・学ぶ」ということです。

### 活動にかける思いをお聞かせ下さい。

藤戸先生 自身は貧困で服ってあんまり意識した事がなかったんです。生活に困った時に真っ先にイメージが湧くのは食べ物だったんです。でも、支援先の難民の方の中には一人服を2枚しか持っていない人もいます。なので、半袖の服と長袖の服と一枚ずつしか持っていないとしたら、夏の時期に雨が降って半袖の服が濡れてしまったら着替える服は長袖しかないよね。それに、服がポロポロになってしまうと体を守ることもできない。このような事を去年の活動を通じて知って、「ああ、服ってすごく大事なんだな」と思ったんです。自分たちにできる事は意外とあるので「今までより意識してやってみよう」という思いが強くなりました。

ユニクロ関係でいうとアメリカの不買運動がありますが、それについてはどう思いますか？



藤戸先生 まず、本当に困っている国の人たちは、そんなことを考える余裕もないのではないかと思います。個人的な意見で言うと、どんな企業でも強制労働や賃金の搾取などが実際に行われているのであれば、それはよくないので事実を追求すべきだと思います。安いものを求める消費者がいるから企業も少しでも安い商品をとということでコストを下げるための方法を模索する。企業だけでなく、消費者も変わることが必要なのは、そこがすごく難しいところですね。ユニクロの安さはどこからきていると思いますか？

### 強制労働や人件費の安さですか？

藤戸先生 一概には言えません。人件費



の安さも国によって違いますね。きっと技術によるコスト削減もしていると思います。アメリカはそれを反対して不買運動という動きになっているけれど、政治が絡んでいる側面もあると思います。日本人の感覚が不買運動をして変えていかなければいけないと言った所まではいいと思います。そしてユニクロ自身に解決しろといったところで解決できる問題ではないと思います。世界で強制労働を減らすために私たちにできることは、安い服だからといってたくさん買ったり、流行りじゃないからといってポイポイ捨てないことだと思います。私はそんなふう

に、服に対する考え方を世の中全体が変えていくべきだと思います。（北原萌衣 久保由乃 渡邊捨奈）

### 新プロジェクト

## 聞き込み委員会

### 始動します

### 代表者にインタビュー



現在、Be Leaders では新しい活動が始まっています。第一回の話し合いにて提案された「聞き込み委員会」とは今年度のBe Leaders の全体目標「住み続けたい街作り」「作る責任、使う責任」に沿って考えられました。『どうしても街づくりとか、作ることにいうのは学校の中だけでの話ではおさまらないかと思ったので、周りの企業の方とか、地域のひととか外の人を巻き込むようにして「聞き込み委員会」というものを作りました。』と委員会代表の先輩方は話します。

まず、具体的にどのような活動を行っているのか。活動内容は名前の通り、企業の方々に聞き込みに伺ったり、SDGsについて知ったり、その会社の取り組みを聞くなど、地域の方々と多く関わる内容です。また、すでに学校でも行われている古紙回収やチョークを集めることでそれらをリサイクルしたり花壇の肥料に活用するなど学校内での活動も盛んです。

「聞き込み委員会」の活動は既に始まっており、聞き込みに行った企業として賢明の制カバンを作ってくださいました。SEBAN さんにお話を伺ったそうです。

今後の目標として『SEBAN さんとお話をさせて貰ったので、そこから SEBAN さんと一緒に行動を起こしていくことです』と話しています。他にも、古紙回収を行ってくださる澤田紙業さんなど、街づ

くりをされている方々にお話を聞いて、「聞き込み委員会」の中で内容をまとめ、その内容を学校に持ち込む事で学校内の活動を進めたり、校内の生徒の皆さんに配信して知ってもらおうという「聞き込み委員会」全体での目標も話してくださいました。私自身SDGsについて学校で知る機会はあるものの、このように自ら知りに行く、聞き込みにいくという行動に移す姿勢は今までありませんでした。そのためこのような活動を通して様々な知識や発見を持ち込んで、配信してほしいと思います。

現在、世界では様々な地球規模の問題が取り上げられています。それらの問題解決の糸口となるSDGsに向かってたくさんさんの活動が行われていることは確かですが、だからと言って「自分には関係ない」と思っている人も少なくありません。中々興味を持ちづらい内容であっても何か一つ、すごい、おもしろい、知らなかったなど興味を持つことでその後の意識はかなり変わると思います。そこでその小さな一歩を踏み出す手掛かりとなるのが「聞き込み委員会」です。配信される取材内容から企業の方々の活動内容を知ったり、チョークと古紙回収に協力するなど少しでもSDGsの活動に興味を持ってみてはいかがでしょうか。(小西華蓮)



インタビュー全文

**Q** このプロジェクトを始める経緯を教えてください。

**A** 第一回の全員の集まりの時に、まず私たちが聞き込み委員会を作りたいね、と言いました。その理由は、今年度の全体の目標が「住み続けたい街づくり」と「責任、使う責任」だったので、どうしても町づくりとか、作ることにするのは学校の中だけでの話では収まらないなと思ったので、周りの企業の方とか、地域の人とかを巻き込んでいかないと、目標の達成に行く活動ができないかなと思ったので、外の人を巻き込むという風にして「聞き込み委員会」というのを作りました。

**Q** 具体的にどのような活動を行っているのかについて教えてください。

**A** 活動は、企業の人に聞きこんで、SDGsについて知ったり、その会社の取り組みを聞いたりしています。あと、古紙回収とチョークを集めたりしています。それを花壇の肥料にしたり、リサイクルしています。また、校内環境でやっていることとかを古紙回収をして下さる澤田紙業さんという企業の方が学校に来てくださっているのので、回収に、その企業の会社の方にも今年度はお話を聞いたりしたいなと思っています。

**Q** 既に聞き込みに行った企業はありますか。

**A** あります。4月にSEIBANさんが学校にいらっしやっていた時があったので、その時にお話を聞かせてもらいました。

**Q** このプロジェクトについて全校生徒に注目してほしい点がありますか。

**A** 注目してほしいのは、取材した企業さんのことを配信するので、それを是非読んでほしいのと、古紙回収やチョークの回収に協力してほしいということです。あと、取材してほしい企業の方とかいたら教えてください。

**Q** 達成したい目標は何ですか？

**A** 達成したいことは、まず、SEIBANさんとお話をさせて貰ったので、そこから具体的に行動をSEIBANさんと一緒に考えて行動を起こしていくことと、他にも街づくりやそういうことをされている方にお話を聞いて、でその聞き込み隊のメンバーでその話を聞いたことをまとめて、学校に持ち込んで、学校の中でできることとかもどんどん進めていって、内容をまとめたものを配信

していったら、それをみんなに見てもらおうことです。

**Q** 最後に何か一言ありますか？

**A** 昨年度もチョークの回収と古紙回収をやっていたので、その古紙とか、集めるのとか、チョークとかを集めるのも引き続き協力してほしいなというのと、あと、私たちのSDGsの活動に興味を持って配信を見てもらったり、アドバイスとかそういうのもしていただいて貰えたらなと思っています。



## Be Leaders に参加しませんか

2021年度も様々な班にわかれて活動しています。1 ベルマーク班 2 新聞班 3 漁・海のゴミ調査隊 4 動物園コラボ企画 5 メッセージ班 6 ユニクロ「服のチカラプロジェクト」 7 校内環境班 8 聞き込み委員会 興味があり、是非やってみようという人は担当の先生に申し出て下さい。活動テーマはSDGsに関することを「知り」「考え」「行動する」です。現在も地球上には様々な諸問題が存在します。問題が大きすぎて個人では何もできないと思っていませんか。そんなことはありません。小さな意識の変化が行動を生み、その積み重ねが問題解決には大切です。日々の疑問を解決したい、何か行動したいという思い、世界の現状を知りたいという知識欲、Be Leaders で実現しましょう。